

第11回福井県嶺南地域流域検討会の審議内容のご紹介

① 笙の川水系の現状と目指すべき方向性について

笙の川水系の現状（第9回流域検討会にて説明）を踏まえた今後の目指すべき方向性について、河川管理者より説明が行われました。

また、笙の川水系における治水に関する基本事項として、「笙の川水系河川整備基本方針（案）」の治水計画に関する内容を示すとともに、治水に関する当面の対応について説明が行われました。

- 目指すべき方向性（治水、利水、環境）
- 笙の川水系における治水に関する基本事項
- 治水に関する当面の対応

◎ 委員からの主な意見

< 笙の川水系の治水手法について >

1. 笙の川水系の治水手法として、河道改修単独案が妥当とあるが、旧川などを利用し複合的に分流することが可能ではないか。
⇒【事務局】旧笙の川などを利用した治水手法も検討済みであり、総合的に勘案して河道改修単独案が最も妥当という提案です。

< 治水計画の計画規模について >

2. 福井県ルールに基づいた計画規模の設定（笙の川水系：1/100年）は適切だと思う。
3. 山間部も含めて、笙の川水系全体を将来的に1/100年規模で整備することを目指すのか。
⇒【事務局】1/100年は、呉竹地点での将来目標を示したものであり、笙の川上流部、各支川の目標については、今後提示します。

< 計画横断形に係る川幅について >

4. 「笙の川水系河川整備基本方針」には、計画横断形に係る川幅を明記しないのか。
5. 引堤の範囲を教えて欲しい。また、引堤による文化財などの被害はないのか。
⇒【事務局】環境面での検討が完了した後、提示します。

< 笙の川の河床掘削について >

6. 過去の経験から、笙の川では、河床掘削を行っても直ぐに元の高さまで復するのではないか。
⇒【事務局】平成8年と平成16年の横断図を比較すると河床変動は見られません。河床掘削後の河床の安定性については、今後提示します。

< 笙の川水系の環境に関する現状把握について >

7. 今回の資料では、笙の川や木の芽川の河川環境は良好とあるが、何を根拠に判断しているのか。生態系の観点からみると、笙の川や木の芽川の環境は悪くなっており、良好なのは黒河川の上流域ぐらいではないか。
8. 笙の川水系は、本来、ヤマメの生息域であったが、アマゴを放流することによって、ヤマメの生息域が減少している。
9. 黒河川は、堰などの影響でサクラマスが遡上できない可能性がある。

< 環境面での要望について >

10. 河川改修を行う場合においても、生物のすみやすい環境づくりに配慮して欲しい。
11. 下流域での環境づくりが困難な場合には、上流域で確保する方法を検討して欲しい。

<利水面について>

12. 敦賀市は生活用水を地下水に依存しているが、現状では、地下水汲み上げによる地盤沈下は起こっていない。しかし、地下水の塩水化などの問題が生じているようだ。
13. 現在、地下水のほとんどを黒河川に依存しているが、黒河川に建設された構造物が地下水にどのような影響を与えるか不安である。

<河川整備計画に関する具体的な要望について>

14. 笙の川と木の芽川の合流点処理について、検討を行って欲しい。
15. 破堤させないことが、被害を最小限に抑えることに繋がるため、堤防の強化対策について検討を行って欲しい。
16. 具体的に堤防の質的な強化とはどういうことを行うのか。
⇒【事務局】堤防の土質および漏水箇所等を把握し、水が浸透しやすい箇所については水を抜く、などの対策を検討していきます。

②佐分利川水系河川整備計画(原案)に関する住民説明会およびアンケート調査結果の報告

佐分利川水系の河川整備計画（原案）に関する住民説明会およびアンケートの結果について、河川管理者より報告が行われました。

<住民説明会>

開催日時：平成 17 年 11 月 14 日（月）午後 7 時 30 分～ 開催場所：あみーシャン大飯
内 容：「河川整備計画策定の背景」「流域検討会審議の経緯」「河川整備計画（原案）の内容」

◎住民説明会での主な意見

- （大津呂生活貯水池について）砂防ダムが建設される場所でのダム建設は安全か。
- （大津呂川について）ダムだけでなく、人家連担区間の上流も継続的な河川改修を行って欲しい。
- （佐分利川について）昔のような変化に富んだ水の流れがあり、いろいろな魚がすむ川にして欲しい。
- （その他）草刈等の維持管理も積極的に行って欲しい。

<アンケート調査>

調査期間：説明会当日及び平成 17 年 11 月 18 日～12 月 2 日
配布方法：説明会参加者へ配布、郵送（300 世帯）、大飯町役場等へ設置
うち 201 回答あり

◎アンケート結果

- 『治水目標（30 年に一回程度の規模の洪水に対応）』について：「もっと安全にして欲しい」が多数（佐分利川 64%、大津呂川 55%）。
- 『利水目標（渇水時の安定した水利用等）』について：「ちょうどよいと思う」が多数（57%）。
- 『河川環境の目標（滞筋確保、魚道改善等）』について：「ちょうどよいと思う」（42%）、「もっと配慮すべき」（45%）が同程度。
- 『大津呂生活貯水池の建設』について：「妥当である」が多数（77%）。
- 『これからの川づくりにおいて最も重要な事項』について：「河川の安全確保」（37%）と「環境保全」（37%）が多く、次いで「安定した水利用」（19%）。